

学習課題(小学校4年生)

【社会】



<学習内容>「地域の資源を生かすまち」

◆地域の資源を生かすまちについて、^{きょうかしょ}教科書158～173ページや^{ちずちょう}地図帳、学校で使っているしりょうなどをさんこうに学習しましょう。

(1) 下の資料は、今からおよそ140年前に函館市に建てられていた洋品店の様子です。建物の様子や人々の様子は今とどのような所がちがうでしょうか。気付いたことを取組シートやノートに書きましょう。



- ・「かべ」や「まど」「屋根」の様子は今とどのようにちがうかな？
- ・人々の服そうは今とどのようにちがうかな？

【資料】「洋品店の広告」

(2) 函館市には、歴史的に貴重な建物がたくさん残されています。それは、なぜでしょうか。次のページの（資料）「歴史的な建物が残っている函館市内の地図」を見て、自分の考えを取組シートやノートに書きましょう。

(3) 函館市の歴史やまちづくりの特ちょうについて下の（ ）にあてはまる言葉を から選び、書きこみましょう。

- ・開港した箱館には、(①)が出入りし、日本各地から商人がうつり住み、港まちとして大変にぎわうようになりました。まちには、写真館・西洋料理店・(②)などが次々と建てられました。
- ・赤レンガ倉庫は、今は昔のおもかげを伝える観光名所として、(③)やホールとして使われています。
- ・「函館市都市景観条例」は、まちの(④)をよくするためにつくられました。
- ・函館山から見た函館の夜景は、まちなみや海、街灯の明かりなどが生み出す美しさで観光客にとっても(⑤)があります。

人気・洋品店・景観・イカ・レストラン・外国船・車

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・函館の歴史については子どもには理解が難しい所もあります。当時の函館の様子については資料をもとに保護者の方が補足しながら学習を進めると理解しやすくなります。

資料「歴史的な建物が残っている函館市内の地図」

2 西部地区のまちなみマップ
歴史的な建物がすらり!

函館山の山ろくの地域（西部地区）は、開港とともにいち早く開かれた地域で、歴史ある貴重な建物がたくさん残っているところなんだ。

